

報告事項エ

平成27年度第2回鳥取県立博物館協議会の概要について

平成27年度第2回鳥取県立博物館協議会の概要について、別紙のとおり報告します。

平成28年2月8日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成27年度第2回鳥取県立博物館協議会の概要について

平成28年2月8日
博 物 館

今年度第2回目の会議を下記のとおり開催しましたので、その概要について次のとおり報告します。

1 日 時 平成28年1月25日(月)午後1時30分から午後4時まで

2 場 所 鳥取県立博物館 2階 会議室 (鳥取市東町二丁目124)

3 出席者 出席9名/15名 参考2のとおり

4 議題等

(1) 報告事項

ア 第2、第3回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について

イ 平成28年度企画展「宇宙への挑戦～未知への扉をひらくとき～」に係る実行委員会方式での開催について

(2) 協議事項

ア 鳥取県立博物館改修基本構想について

5 主な意見

ア 第2、第3回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について

- ・鳥取県立美術館のコンセプトは、何が重視されているのか分からない。特色がない。
 - 「鳥取県にゆかりのある美術の蓄積・継承」及び「国内外の優れた美術を鑑賞・学習する機会の提供」という基本的な部分をベースに、地域との連携等の特色を出していければと思っている。
 - キャッチコピー的なものがあれば重点が見えてくるのではないかという意見もいただいております。次回第4回の検討委員会において、コンセプトに関するコピー(キャッチコピー)について協議していただくこととしている。
- ・教育を核にして、美術に特化せず、博物館との連携も含めたコンセプトがよいと思う。
 - 教育普及については言及されており、これも特色として打ち出したいと思っている。

イ 平成28年度企画展「宇宙への挑戦～未知への扉をひらくとき～」に係る実行委員会方式での開催について

- ・広報面のメリット等がデメリットを上回ると思われ、実行委員会方式はよい取組だと思う。
- ・実行委員会形式だと、集客のため、博物館が意図しない不本意な内容になる懸念がある。
 - 初めてのことであり、相手方の出資割合も少ないので、今回は完全に博物館が主導で実施できるが、今後はその点にも留意していきたい。

ウ 鳥取県立博物館改修基本構想について

(展示関係)

- ・青谷上寺地遺跡等とタイアップして考古分野の展示を充実させてほしい。
 - 現在でも、常設展示において、青谷上寺地遺跡や妻木晩田遺跡の展示は行っており、考古の取扱については、今後検討していく。
- ・立ち寄りやすさ、開かれた博物館という視点も盛り込み、敷居を高くすることなく、居心地のよい空間作りをしてほしい。
- ・常設展示では時期により展示を変えたり、調査結果のみ展示するのではなく、その研究のプロセスも含めた動きの分かる展示もあるとよい。
- ・映像シアターもあるとよい。広報面も充実させてほしい。

(教育普及)

- ・学校教育での博物館利用について、例えば県内の小学校は必ず1度は、授業で県施設(博

物館、図書館等)を利用するというような県全体での取組ができないか。

(人材)

- ・学芸員を充実させてほしい。
→企画展を増やせば、それに見合う学芸員が必要になり、今後取り組まなければならないことと認識している。
- ・県内で育った人材が県外に流出することなく、県内で活用できるシステムを作ってほしい。

(その他)

- ・改修の際に休館する場合は、ソフト面を充実させ、その対応を今から考えておくべき。
- ・急がないということだが、現在考えている改修基本構想策定の日程を教えてください。
→次回の協議会でお示しする。

参考1 本協議会は博物館法第20条の規定により開館当初の昭和47年から設置しており、博物館の運営に関し意見を述べる機関である。

参考2 協議会委員名簿(任期:H26.4.1~H28.3.31)

氏名	ふりがな	役職等	区分	出欠	備考
西浦 公子	にしうら きみこ	東部地区家庭教育相談員連絡協議会代表	家庭教育	出	
民木 寛子	たみき ひろこ	鳥取市立津ノ井小学校校長	学校教育	欠	
有本 健一	ありもと けんいち	鳥取市立北中学校校長	学校教育	欠	
田村 閑美	たむら しずみ	鳥取中央女性会会長	社会教育	出	
星見 清晴	ほしみ きよはる	前鳥取市立湖山西地区公民館長	社会教育	出	議長
前田 宣子	まえた のぶこ	米子市立山陰歴史館運営委員会委員	社会教育	出	
小玉 芳敬	こだま よしのり	鳥取大学地域学部教授	学識経験者	出	
永松 大	ながまつ だい	鳥取大学地域学部教授	学識経験者	出	
井島 真知	いしま まち	ベルナール・ビュフェ美術館 学芸員	学識経験者	出	
福島 敬恭	ふくしま のりやす	彫刻家、京都市立芸術大学名誉教授	学識経験者	出	
小泉 元宏	こいずみ もとひろ	鳥取大学地域学部准教授	学識経験者	欠	
森口 まどか	もりぐち まどか	美術評論家、宝塚大学造形芸術学部准教授	学識経験者	欠	
坂本 敬司	さかもと けいじ	前鳥取県史編さん室長	学識経験者	出	
野地 恒有	のじ つねあり	愛知教育大学教授	学識経験者	欠	
高田 健一	たかた けんいち	鳥取大学地域学部准教授	学識経験者	欠	

※鳥取県立博物館協議会に関する条例第3条の規程により、委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者15名を任命。

